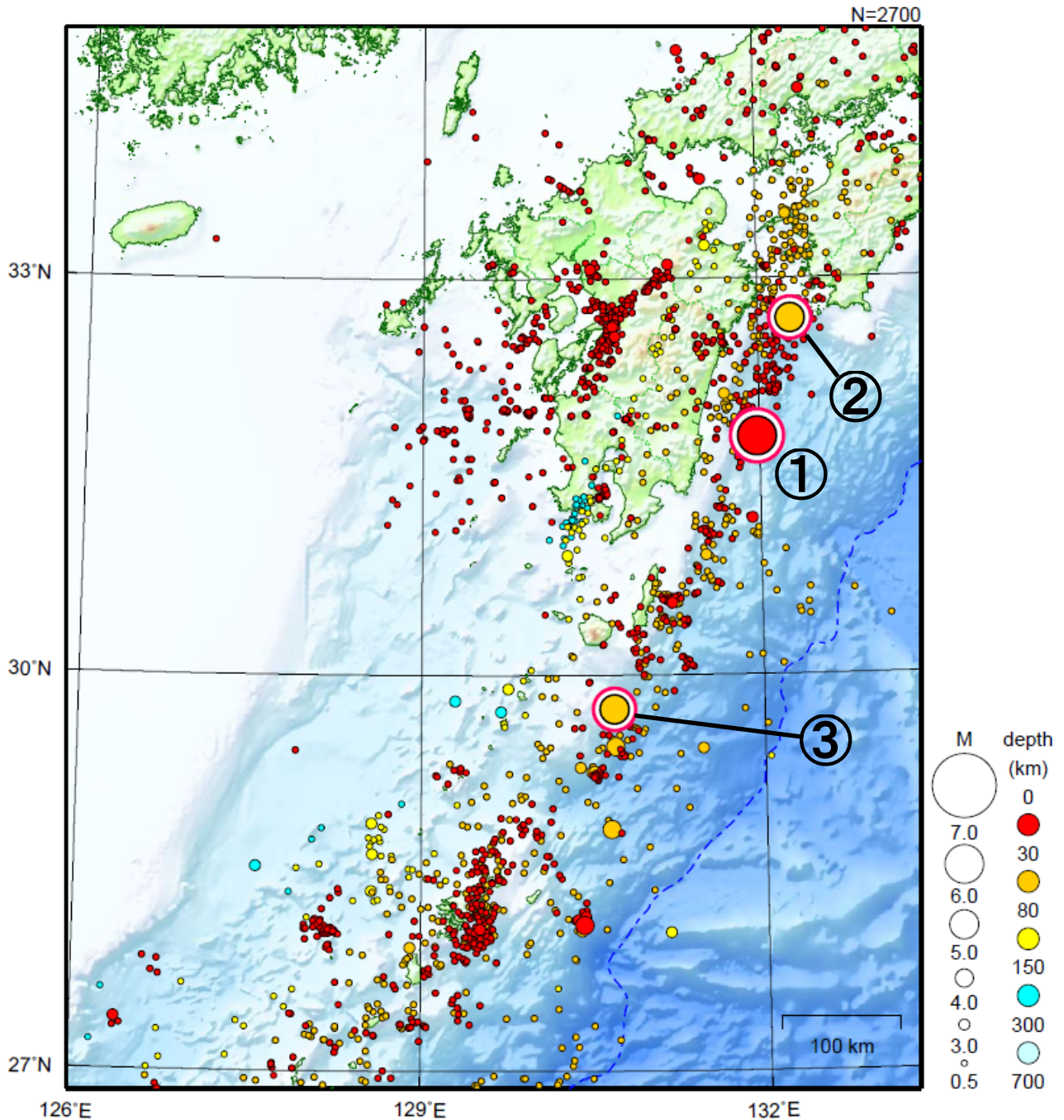


九州地方

2019/05/01 00:00 ~ 2019/05/31 24:00



地形データは日本海洋データセンターのJ-EGG500、米国地質調査所のGTOP030、及び米国国立地球物理データセンターのETOPO2v2を使用

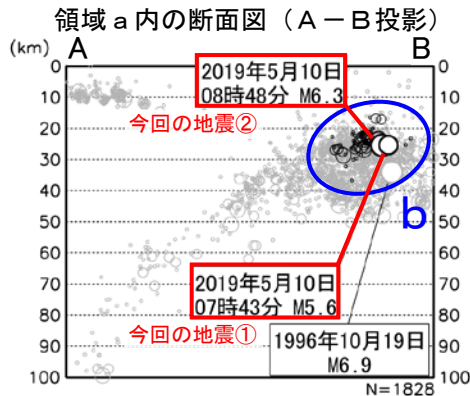
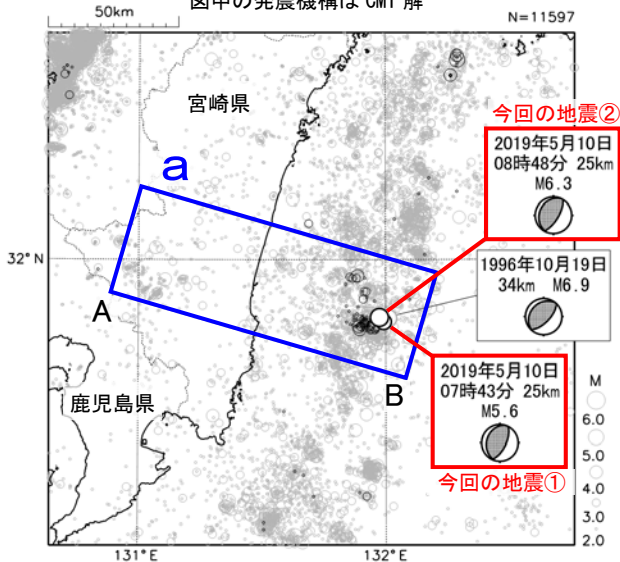
- ① 5月10日07時43分に日向灘でM5.6の地震（最大震度3）が発生した。
また、同日08時48分にほぼ同じ場所でM6.3の地震（最大震度5弱）が発生した。
- ② 5月11日に日向灘でM5.0の地震（最大震度4）が発生した。
- ③ 5月15日に奄美大島北東沖でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。

〔上述の地震はM6.0以上または最大震度4以上、陸域でM4.5以上かつ最大震度3以上、海域でM5.0以上かつ最大震度3以上、その他、注目すべき活動のいずれかに該当する地震。〕

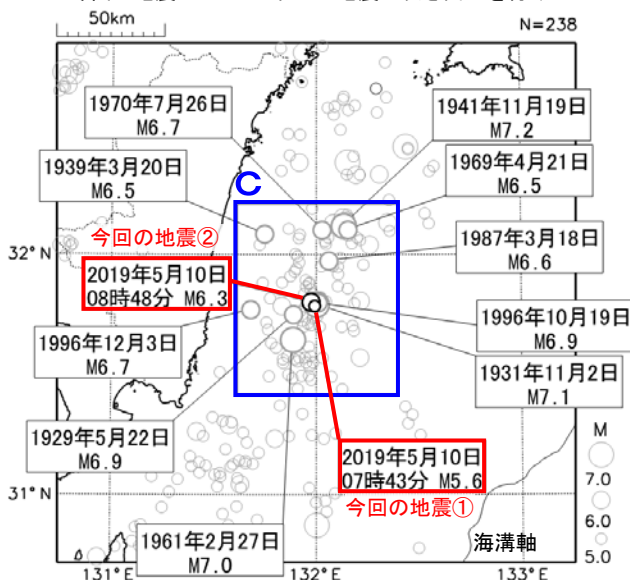
気象庁・文部科学省

5月10日 日向灘の地震

震央分布図
(1994年10月1日～2019年5月31日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2019年5月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



震央分布図
(1922年1月1日～2019年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2019年5月の地震を濃く表示
今回の地震と $M \geq 6.5$ 以上の地震に吹き出しを付けた

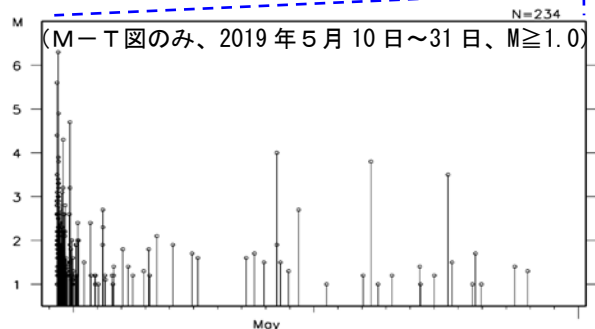
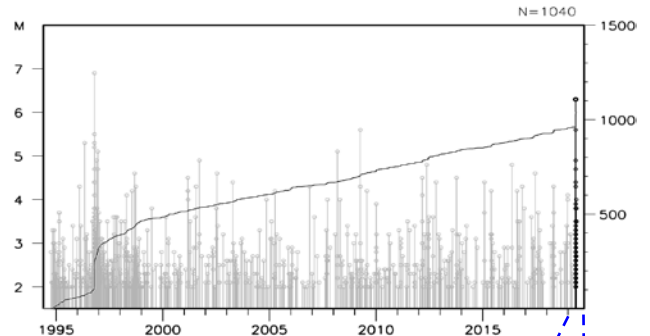


2019年5月10日07時43分に日向灘の深さ25kmで $M5.6$ の地震（最大震度3、今回の地震①）が発生した。また、同日08時48分にはほぼ同じ場所で $M6.3$ の地震（最大震度5弱、今回の地震②）が発生した。これらの地震は、発震機構（CMT解）が西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型で、フィリピン海プレートと陸のプレートの境界で発生した。この地震により、軽傷者2人の被害が生じた（5月17日現在、総務省消防庁による）。

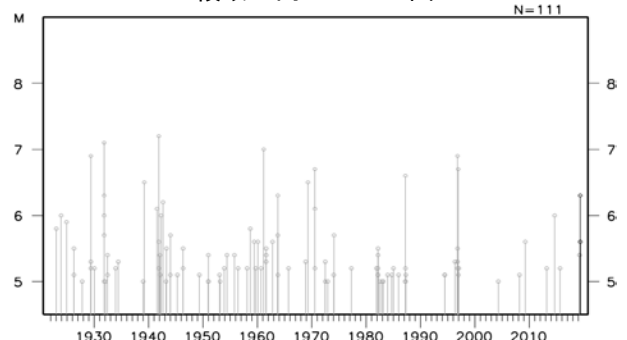
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近（領域b）では $M5.0$ 以上の地震が時々発生している。1996年10月19日に今回の地震とほぼ同じ場所で発生した $M6.9$ の地震（最大震度5弱）では、高知県の室戸岬で最大27cm（最大全振幅）の津波を観測した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域c）では $M6.0$ 以上の地震が時々発生している。1931年11月2日に発生した $M7.1$ の地震では、死者1人、負傷者29人などの被害が生じたほか、高知県の室戸岬で最大85cm（最大全振幅）の津波を観測した（被害は「日本被害地震総覧」による）。

領域b内のM-T図及び回数積算図

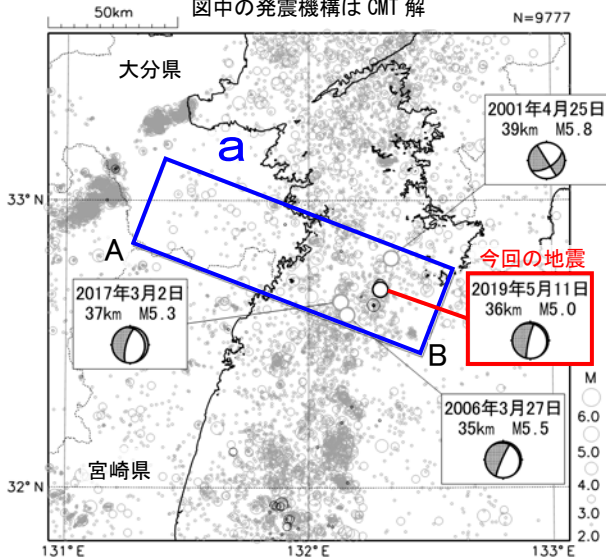


領域c内のM-T図

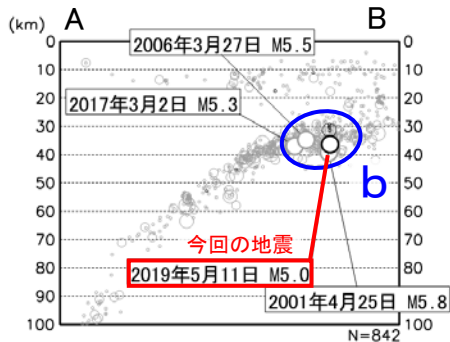


5月11日 日向灘の地震

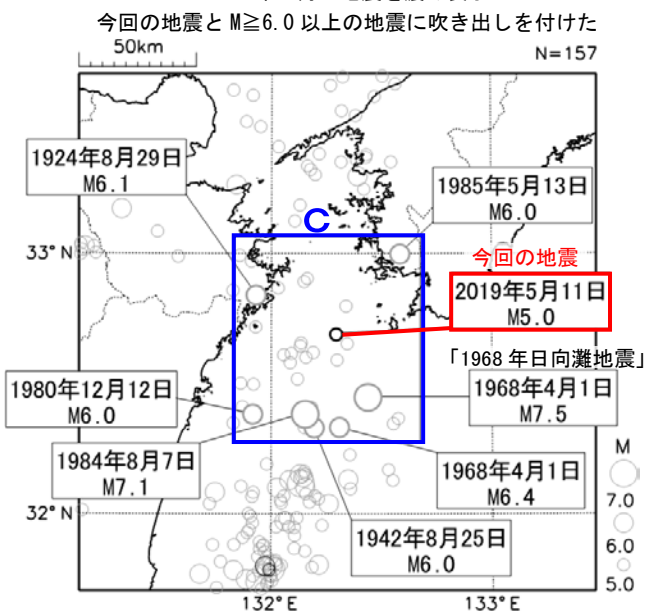
震央分布図
(1994年10月1日～2019年5月31日
深さ0～100km、 $M \geq 2.0$)
2019年5月の地震を濃く表示
図中の発震機構はCMT解



領域a内の断面図 (A-B投影)



震央分布図
(1922年1月1日～2019年5月31日、
深さ0～100km、 $M \geq 5.0$)
2019年5月の地震を濃く表示
今回の地震と $M \geq 6.0$ 以上の地震に吹き出しを付けた

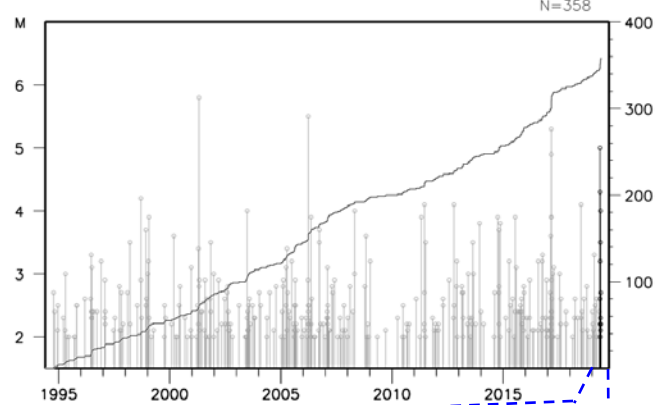


2019年5月11日08時59分に日向灘の深さ36kmでM5.0の地震 (最大震度4) が発生した。この地震は、発震機構 (CMT解) が東西方向に張力軸を持つ正断層型で、フィリピン海プレート内部で発生した。

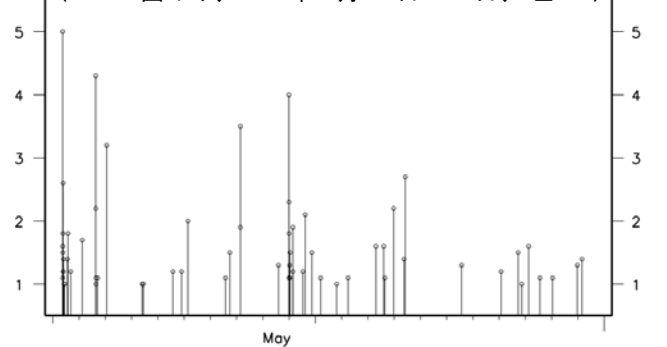
1994年10月以降の活動をみると、今回の地震の震源付近 (領域b) ではM5.0以上の地震が時々発生している。近年では、2017年3月2日にM5.3の地震 (最大震度4) が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺 (領域c) ではM6.0以上の地震が7回発生している。「1968年日向灘地震」 (M7.5、最大震度5) では、負傷者57人、住家被害7,423棟などの被害が生じた (「日本被害地震総覧」による)。また、この地震により大分県の蒲江で240cm (最大全振幅) の津波を観測した (「日本被害津波総覧」による)。

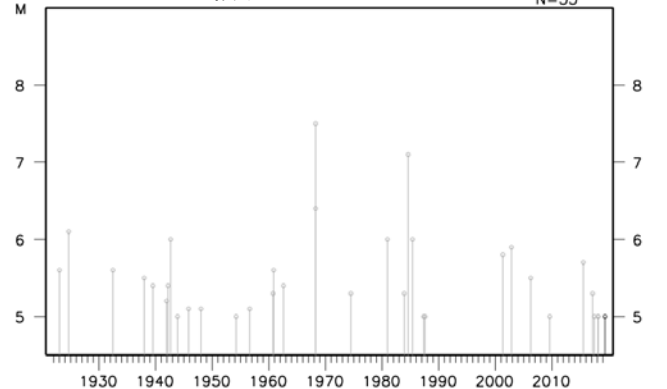
領域b内のM-T図及び回数積算図



(M-T図のみ、2019年5月11日～31日、 $M \geq 1.0$)



領域c内のM-T図

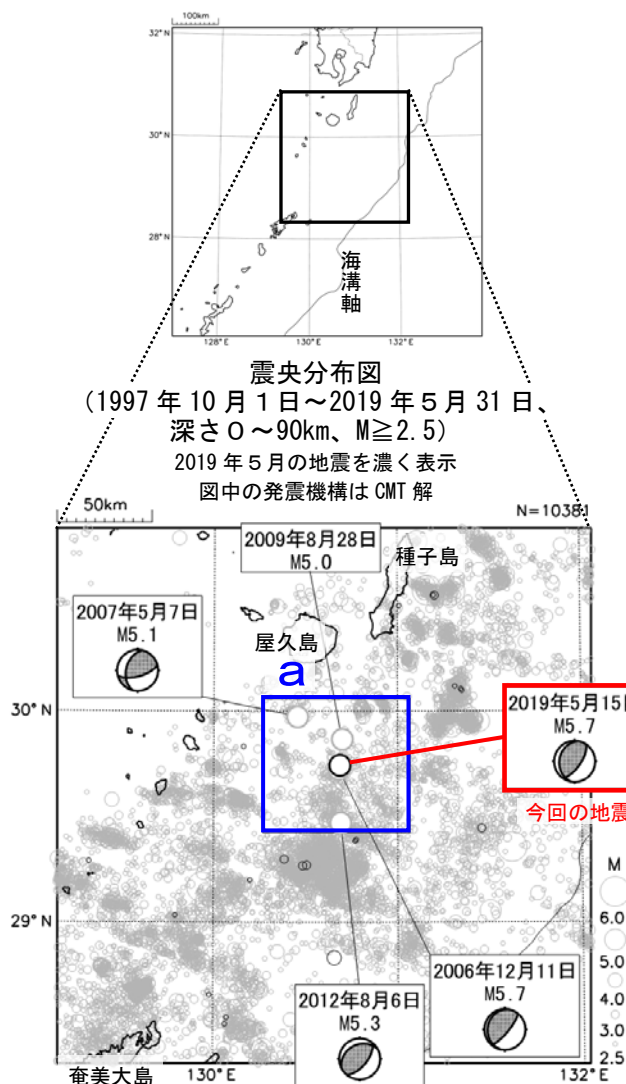


5月15日 奄美大島北東沖の地震

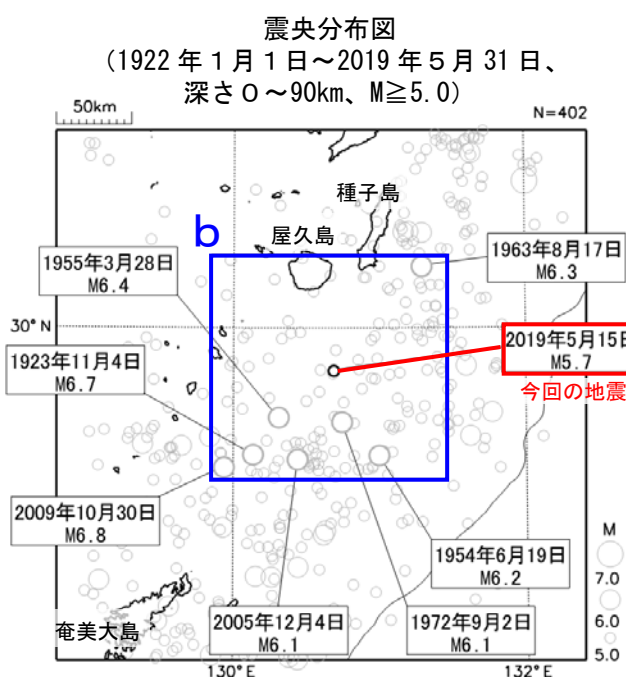
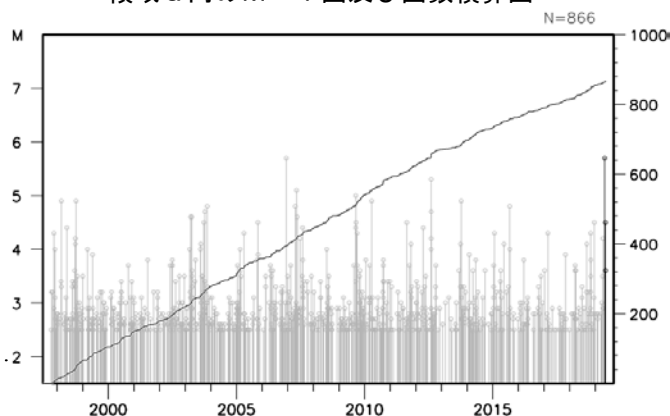
2019年5月15日14時24分に奄美大島北東沖でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。この地震の発震機構（CMT解）は、西北西－東南東方向に圧力軸を持つ逆断層型である。

1997年10月以降の活動をみると、今回の地震の震央付近（領域a）ではM5.0以上の地震が時々発生している。2006年12月11日には、今回の地震とほぼ同じ場所でM5.7の地震（最大震度3）が発生した。

1922年以降の活動をみると、今回の地震の震央周辺（領域b）では、M6.0以上の地震が7回発生している。2009年10月30日にはM6.8の地震（最大震度4）が発生し、鹿児島県の枕崎で18cmの津波を観測した。



領域a内のM-T図及び回数積算図



領域b内のM-T図

